

東海聖化交友会

No.24 (臨時号)

発行日 2014年2月16日

発行人 東海聖化交友会・松浦 剛

発行所 〒453-0053 名古屋市中村区  
中村町7-46 福音センター内

# 東海聖会報

## エベン・エゼル

(主がここまで助けてくださった)

中京聖泉キリスト教会 牧師 秋山 直光  
新年も早一か月半が過ぎ、新たな思いをもって始まった信仰の日々の歩みの中に、みなさまそれぞれ、主の祝福を数えておられることと思います。

さてこのたび、今年6月の東海聖会の案内と昨秋召されました内山繁実先生の追悼の必要を感じて『東海聖会報24号』を臨時発行することになりましたが、この巻頭では、来る2月末の総会午後におこなわれる教職者の学びプログラムについてご案内させていただきます。

東海聖化交友会は、本田弘慈先生らの呼びかけによって1988年10月に発足し、今年で26年目を迎えています。いわゆる四半世紀を越えてなお、次なる一歩を踏みしめているわけです。

「聖化の宣証」を目的とするこの働きは、おもに6月と10月の2つの聖会と2月の総会開催、また『東海聖会報』発行が主たる事業です。(遠州支部では、2月に遠州聖会を開催しています)

会の目的に賛同してくださる地域の諸教会が合同で開催する聖会は、多くの恵みをいただく貴重な機会となってきました。また、地域にこうした交わりがあることによって、同じ信仰を深く分かち合える教職者の先生がたや信徒の方々と、豊かな霊の交わりを積み重ねてこれたことは、主の測り知れない祝福であったと思います。

この働きを始め、軌道に乗せ、厚い祈りと多大な協力をもって育ててくださった多くの方々に、心からお礼を申し上げ、また主の御名を賛美したいと思います。

しかしながら、25年という年月は決して短いものではありません。当時三十路を数えたばかりの私が、なんと50代半ばになるのですから。

東海聖化交友会の働きも、祝福と恵みを数えられる一方で、いくつかの課題が出てきていることも否めないことです。ある意味で、それは「時代の変遷」と

言えるのかもしれませんが。

21世紀は、いよいよIT真っ盛りの時代であり、それは、単にパソコンとかケータイなど便利なツールが広まっただけではなく、人の生活の様式とか、モノの感じ方・考え方や行動スタイルにまで、大きな影響を及ぼすようになっています。

聖会と言えば、以前ならくひとつとところに集まる〈時も忘れて賛美し祈る〉〈御言葉にじっくり浸る〉などが当たり前の光景でしたが、クリスチャンである私たちも、時代の空気を吸いながら刻まれる時に何か追い立てられるように、短いひとコマひとコマを生きている感があります。

ひと昔まえなら当たり前のことが、当たり前でなくなった時代を迎えているということです。

もちろん、時代が変わっても変わらないもの、変わってはいけないうものもあるでしょう。福音の中味はその最たるものです。しかしながら〈頑なに変わらないこと〉を是としてもならないのだらうと思うのです。

東海聖化交友会の役員会は、7~8名の牧師で構成していますが、当面必要な議題を処理するかたわら、この先この働きをどのように進めていくことが主のみこころなのかと祈り、語り合うことをつづけてきました。

今月24日の総会では、同労の先生がたとそうしたことでも分かち合いたいと思います。また午後の学びの時間にも、ポイントを絞り、出席してくださるそれぞれの思いが噛みあうような話し合いとなることを期待しながら、私・秋山が発題させていただく予定です。

あわせて今年6月の東海聖会(会場・一麦教会)では、初日土曜の聖会をすこし工夫して、出席された方々から“参加したなあ!!”“日頃なかなか分かち合えないようなことを話せたなあ!!”“きよめってこういうことだったんだあ!!”という感想がもれてくるような集いをしてみたいと思っています。

このご案内をいたします牧師先生がたには、ぜひ2月の総会にご出席くださいますように。また信徒の方々には、6月の東海聖会に、ぜひみなさんで足を運んでくださいますように。

心より期待し、お祈りし、お願いいたします。



## 追悼 内山繁実師

イムマヌエル綜合伝道団豊田教会の内山繁実先生が、2013年10月12日に55歳の誕生日を目前に召天された。東海聖化交友会では、会計監査

の奉仕を何年か担っていた。

2月の総会、6月の東海聖会、10月の聖化大会の主要行事がある時には、必ず内山繁実先生の姿があった。地味ではあったが、忠実さと熱心さでは目立つ存在であった。

内山繁実先生のご母堂・内山和恵先生が、2012年10月25日(木)に、聖化大会の中の信徒集会で講演された。その音声記録を、内山繁実先生召天後に聞く機会があった。

少女時代に日曜学校でみことばを聞くところから始まって、現在までの歩みを詳らかにされた。当然、結婚・出産・子育てにも触れておられた。「この親にしてこの子あり」ということを実感した。

内山繁実先生は、内山富夫・和恵牧師夫妻の長女として1958年10月27日に誕生された。聖宣神学院卒業後、東海地区では四日市教会、岐阜教会、豊田教会で奉仕された。

東海聖化交友会で聖化宣証のメンバーとして親しくお交わりをするようになったのは、内山繁実先生が岐阜教会で牧会されるようになってからではなかった。

印象に残っていることがある。ある年、基督兄弟団一宮教会で2月の総会を開いた時、午後の研究発表で内山繁実先生が女性教職の課題についてのアンケート調査をし、その発表をされた。

また先年のことであつたが、松原向先生の説教集「むくいをのぞまで」の読后感想文集を東海聖化交友会で発行した際、内山繁実先生は簡潔で要を得た文章を寄稿されている。

豊田教会ではバリアフリーをめざす牧会をされていたそうである。女性教職の特質を生かして、どなたの心にも福音を届けておられたに違いない。

会長 松浦 剛

# 21th 東海聖会

講師 川津 良知師

今年は、地元 名古屋の講師をお迎えしての聖会です。

川津良知先生は基督兄弟団・名古屋教会と豊橋教会を兼任される主任牧師。50代で同教団の理事も務めておられます。牧師2世ですが、若い頃、信仰に反発。その分、豊かでおおらかな包容力で、これまでにない聖会メッセージを語ってくださると期待しています。

とき

6月28日 土 2:30PM  
6月29日 日 2:30PM

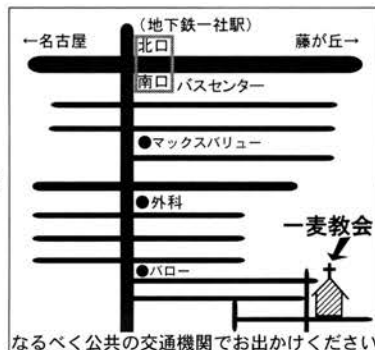
ところ

活けるキリスト  
一麦教会

名古屋市名東区亀の井2-102  
☎052-701-4221

東海聖化交友会

〒453-0053 名古屋市中村区中村町7-46福音センター  
問合せ / ☎0562-97-6468



なるべく公共の交通機関でお出かけください